

命が短いことを教えてください

それゆえ、私たちに自分の日を正しく数えることを教えてください。そうして私たちに知恵の心を得させてください。

詩篇 90 : 12

たとえ70年や80年生きたとしても、それは直ぐに過ぎ去ります。そこで、神様の王国のために日々を過ごすようにしましょう。それは賢い生き方です。

祈り 主よ。まことに毎日他人の生活を祝福することにより、あなたに仕える日を与えてください。豊かに過ごせた日々を振り返る事ができるように助けてください。

グローバー・シップ
テキサス州 オースティン

御茶の水キリストの教会

9月15日（火）

神様を崇拝することの選択

聖書朗読 詩篇 95：1～7

主は与え、主は取られる。主の御名は、ほむべきかな。

ヨブ 1：21

娘が医療宣教団の一員として活動するためにアフリカに行きました。娘は、看護師として、アフリカの奥地で暮らしている人々に、出来るだけ多くの癒しと安らぎと、そして神様の恵みを与えるべく一生懸命働きました。彼らは、極端な貧困によって生活状態は厳しく、医療団へ助けを求めに来る多くの女性や子ども達が病気と栄養失調で苦しんでいました。

娘はクリニックでお産の手伝いをしていました。そこでも、多くの新生児が生まれましたが、最もきびしい時には、生き残った赤子はたった一人でした。子どもを無くした母親と彼女らの希望が壊れたのを見ていると、娘も、心身を消耗させ胸が張り裂けそうになり、信仰をも揺るがす一日でした。

娘は見て経験したことを、神様に話しながら次の言葉を書き留めました。「今日、私は神様に委ねることを選択した」。絶望的な状況の中で彼女は、神様の統治を尊重し、その御旨に委ね、神様の慈悲にすがることを選択しました。そう私たちも出来ます。

私たちがどんなことに直面しようが、私たちの暮らしの中で何を失おうが、壊れようが、私たちは神様に委ねようではありませんか。私たちは神様に心を向け、壊れた夢を神様にぶつけ、神様の栄光のために決心を語り掛けましょう。

讃美歌 267

祈り 天のお父様。あなたに委ねる道を示してくださったことに感謝します。今日、あなたに委ね、あなたを求め、あなたの栄光のために光のように輝くことが出来るよう助けてください。

イエス様の御名を通して。アーメン。

キャサンドラ・マーティン
テキサス州 スプリング

9月16日（水）

心の讃歌

聖書朗読 詩篇 108：1～5

神よ。私の心はゆるぎません。私は歌い、私のたましいもまた、ほめ歌を歌いましょう。
詩篇 108：1

昔の記憶ですが、祖母の家で、叔父叔母が讃美歌を歌っている間、一緒に輪を作って座っている光景が目に残ります。私たちは、家族が集まるたびに神への信仰と大好きな讃美歌を分かち合いました。私はいつも、彼らが歌う讃美歌「天使の声のように」や「まもなくかなたの」を聞いていました。

私と妹達は、それぞれ古く使い込んだペーパーバックサイズの讃美歌集を持って母の椅子の周りに集まり、よく一緒に歌いました。母の一番好きな歌は「いつくしみ深き友なるイエスは」と「約束の上に立って」でした。私はこれらの讃美歌のどれを聞いても直ちに母のことを思い出します。母が癌で亡くなる時、友であるイエス様の約束は実行されたのです。私は母の信仰が讃美歌を通して人生の大切な部分であることを覚えました。

パウロは、讃美歌の威力を認めコロサイ3：16で次のように書いています。『キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住ませ、知恵を尽くして互いに教え、互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。』

讃美歌 312

祈り 父よ。賛美の歌を与えてくださり感謝します。私たちがそれを使い、あなたを賛美するだけではなく、他人と分かち合えますように。
イエス様の御名を通して。アーメン。

ジョイス・ハーディン
テキサス州 オースティン

9月17日(木)

我が神、主よ、私を助けてください

聖書朗読 詩篇 109編

わが神、主よ。私を助けてください。あなたの恵みによって、私を救ってください。こうして、これがあなたの手であること、主よ、あなたのなされたことを彼らが知りますように。

詩篇 109：26～27

あなたがたはこの詩篇をどのように理解し応用していますか。この詩篇の作者は神様に、敵が報いを受けるよう頼んでいます。

私たちが罪を犯したわけでもないのにどうすることもできない状況とはどんなものなのでしょう。あるいは、正義の勝ち目が無く、ただあとは神様に祈ってその力によって残酷な敵をやっつけてもらう場面とはどんなものなのでしょう。あるいは、私たちが悪意のある憎悪により心が深く傷つくと言う無益な奮闘に関わったと気づく場面とはどんなものなのでしょう。あなたは、どのように感じますか。

詩篇の作者は、別のほほを差し出したのでしょうか、敵のために祈ったのでしょうか、悪を善で報いたのでしょうか。そうすべきだったかもしれません。しかし、詩篇の中では、神を敬う男達として、神様に隠し立ての無い、正直で罪の無い男を演じています。

ヨブも人生の様々な問題に苦悩した人でした。パウロは苦悩しながらも赦しの意味を知った人でした。

私たちは、詩篇の作者が敵に危害を加えることを、自分ではなく神様にこそ頼んでいることを忘れないでおきましょう。

讃美歌 280

祈り 天のお父様。他人の邪悪な行為から救ってください。どうか私に報いをあなたの御手に委ねる信仰を与えてください。
イエス様の御名により。アーメン。

スチュアート・ラブ
カルフォルニア州 マリブ

9月18日(金)

偶像

聖書朗読 詩篇 115：1～8

ですから、私たちは、機会あるたびに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行いましょう。

ガラテヤ 6：10

いわゆる宗教建築の塔を、よく見かけます。それは、町を見下ろす見張り塔のように建っています。その隣に建てられている宮も特別不思議ではありません。中には金で覆われた像が安置されており、その前では大勢の人が祈り、お香を炊いていました。それを見て不思議に思いました。確かこの国は、以前は宗教的な儀式を禁止していたのではなかったのか。しかしその像の前には多くの崇拜者がいました。

ダビデやソロモンの時代のユダヤ人は、偶像の意味についてよく知っていました。周りの国の人たちは、神を(肉眼で)見る事が出来ないとあざけりました。今日でも見えない主への信仰と信頼に基づいて行動するキリスト者をあざ笑う人がいます。

主の内に住んでいる私たちが、この機会を捉えて指摘したいのは、今日の偶像が、それが成功から来ているのか、地位から来ているのか、力からか、金で出来ていても、命を与える物ではないということです。交わり、帰属意識、お世話や愛のある関係は、理想的なキリスト者の共同体です。

私は主に似た絵を持たない

主は、木や石の上に伝道の記録を残さない

主は、墓石に彫りを入れたり、羊皮紙に書いたりしない

しかし人の心のみが主の記憶を信じる。

—— ウイリアム・ハード・ヒリヤー

讃美歌 339

祈り 主よ。私たちのあなたへの信仰と信頼を新しくしてください。
イエス様の御名を通して。アーメン。

チップ・モーア

カルフォルニア州 パリサデ

9月19日(土)

たましいに甘いもの

聖書朗読 詩篇 119:97~104

親切なことばは蜂蜜、たましいに甘く、骨を健やかにする。

箴言 16:24

蜜蜂は、入念に仕切った小さい部屋を作り、自然の砂糖の一つである蜂蜜として蓄えます。蜂達は協力して巣に果蜜を運び、驚くべき事に物質を甘くてべたべたした物に変え、それが蜂だけではなく人間の食べ物としても使われます。何世紀もの間、蜂蜜は薬としてだけではなく食べ物の甘味料として使われてきました。箴言16:24では、作者は親切な言葉を蜂蜜に例えています。

両親や先生や親類の者からかけられた心に響く言葉をどれ位覚えていますか。ほとんど覚えていません。恋人や重要な人物から頂いた貴重な手紙をどの位大事に保存していますか。ほとんど保存していないのではありませんか。挨拶状に書かれている有益な言葉をどれ程大事にしていますか。ほとんどしていないのではありませんか。なぜでしょう？

元気付ける言葉は心地よく精神を高揚させてくれます。それらのそれぞれの行間の意味と重要性を理解し消化するために、何度も読みかえます。愛をもって真実が語られる時(エペソ4:15)人々は変わるのです。ダビテは詩篇の中で、『御言葉は、蜜よりも甘い』(詩篇119:103)と言っています。親切な甘い言葉を広めることによって、私たち自身が周りの人の激励となるのです。さてあなたは今日誰を激励しましたか。

讃美歌 第二編 167

祈り 御在天の父なる神様。私たちの周りに少しでも親切な言葉を広めることができます様に導いてください。私たちに激励を必要としている人の心に勇気を与え、気遣う態度を与えてください。人々の必要なものに意識が行くようにしてください。

イエス様の御名により。アーメン。

コニー・S・トーマス

ケンタッキー州 ワシントン

9月20日(日)

暗闇の中の怪物と虫

聖書朗読 詩篇 119:145~160

ほむべきかな。主。主は私たちを彼らの歯のえじきにされなかった。私たちは仕掛けられたわなから鳥のように助け出された。わなは破られ、私たちは助け出された。
詩篇 124:6~7

息子が小学校に上がる前のことです。化け物や虫や夜の部屋の暗さが怖いと言い出し、それらが息子を捕まえに来ると言うのです。就寝時には、ほとんど毎晩のように化け物や虫を探すことが習慣のようでした。そして息子は暗い部屋では安心できないので、いつも電気を点けたままにしていました。

昔、詩篇作者が軍隊から追われたように、今大人になって、虫や化け物に追われることは有りませんが、いつも追いかけている獲物のように感じる場合があります。私たちは、連鎖的に落ち込んだり、過去の罪の記憶に囚われたり、仕返しを夢見るような罠に陥っていると感じる時があります。通勤している間、洗濯をしている間、コンピューターの前で座っている間は、それらの罠から逃げているのです。

作者は、落胆することは有ったけれど、希望はすてませんでした。神様が約束を守るお方であり、必ず臨在するという信仰が、罠から遠ざけてくれました。現在でも追いかける敵は違っているけれど罠から逃れる道は同じでしょう。

私の息子が電気を点けて寝るように、神様が約束を守ることやその臨在は私たちの暗い部分に灯をともしてくれます。詩篇を読むことは、今日神様を見るのに役立ちます。神様のイスラエル人への誠実さを深く考えると、神様が新しいイスラエル人に対しても誠実であることが分かります。作者のようにいつも読んで深く考えることをしなさい。そうすれば、罠から逃れることが出来ます。

讃美歌 380

祈り 神様。あなたは私たちから疑いや落胆という現代の敵から遠ざけてくださっています。あなたに集中できるよう導いてください。

イエス様の御名を通して。アーメン。

エミリー・スコット・ロウ

カルフォルニア州 マリブ